



学校だより 本荘 2024 Smile

令和6年度 第39号
令和6年12月9日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

久しぶりのふれあい給食。こんな交流が大切なのです。2学期アラカルト④



10月22日は、久しぶりのふれあい給食でした。どれくらい久しぶりかといいますと、コロナ禍の前までさかのぼるわけですから、ずいぶん昔の話になるわけです。

思えば、令和3年に、私が本校に赴任した時は、まだコロナ禍の影響でいろいろな教育活動が制限されていた時期でした。みんながマスクを着用し、給食では「黙食」などという造語があらわれ、体育も制限されていました。アルコール消毒が義務付けられていました。夏休み明けには分散登校というのもありましたね。あのような時代は二度と来ないでほしいと心から願います。やっぱり素顔で笑顔ですよ。

久しぶりのふれあい給食なのですが、写真を見ていただくとわかるように、地域のご高齢の方々と生活科でつくったおもちゃで一緒に遊ん

だり、さらに動くように作り方を教わったりしながら、給食も一緒に食べるというものです。写真のような距離感が大切です。

私は、地域の教育力を学校づくりに取り入れたいと日々考えている校長です。このふれあい給食のような教育活動では、地域の方々のやさしさ、こどもへの想い、長く人生を歩んでこられた経験、多種多様な知識、地域への愛情、家族の大切さ等、机上の学習だけでは学べない、総合的な学びが生まれるのです。

また、地域の方々は、「地域の宝」であるこどもたちとのふれあいによって、「元気をもらった」「とても楽しかった」と言ってくれます。こども、学校、地域のそれぞれにメリットがあり、みんな笑顔になれる交流活動がこの「ふれあい給食」なのです。(裏面へ)



だからこそ、大事にしたい教育活動です。

こどもたちが、生活科でつくったいろいろなおもちゃや道具を通して、笑顔が生まれ、おいしい給食を食べることで、そこにつながりが生まれる。こんな行事や活動をこれからも大事にしていきたいと考える校長なのでした。

1、2年生のみんな！笑顔でいてくれてありがとう。夢を大切にしてくれてありがとう。これからもみんなでなかよく笑顔の学校にしていきたいましよう。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「家庭科の作品です。高学年のみんなの力作でした。」

家庭科の作品展に出した、5、6年生の作品です。高学年ってここまでつくることのできるんだと思うようなものばかりでした。思わず「いいね」をつけたくなりました(笑)

